

# 星屑

Sep. 05

No. 366



M8&M20・KCAO

いて座の散光星雲 M8&M20

Nikon D70（改造）ボーグ76ED+0.85×レデューサー

熊本県民天文台

# スター・パーティー in 城南 08/13

ひH

とうとう、ここ天文台で夏のイベントを開くことになりました。これまで、清和村で「九州スター・フェスティバル」がひらかれてきました。その立ち上げからずっと関わってきたのですが、ここ数年は会としてはご無沙汰していました。

夏に何にもイベントがないというのも寂しいということで、今年は自分でやってみようということになったのです。

## いつやろう？

しかし、時期をいつにするかで大変揉めました。13日（土）と決めたのですが、お盆の時期で何人の人が集まるのか心配でした。しかも、前日の12日（金）は熊本県が企画する「フィールドミュージアム」が天文台で行われ、たくさんの会員がお手伝いすることになっていました。2日連続は大変なのではとも思いました。

でも、結局見切り発車で行うことになりました。

## フィールドミュージアム

12日は、少し雲が流れる天気でしたが、星も見えますますの観測日和で

した。しかし、準備の時間の暑いこと暑いこと。午前中に敷地の草刈りをしましたが、それだけでもう一日が終わってしまったみたいでした。

夕方から準備をはじめ、天文台の前庭にシートを3枚敷き、プロジェクターの準備。さらに、熊本大学の学生さんがお手伝いをしてくれました。

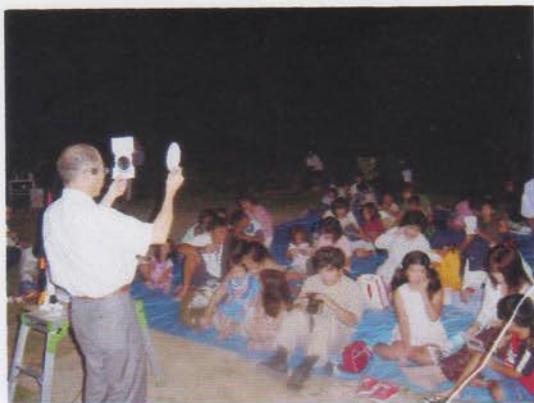


アストロアーツ提供の星座早見盤をみんなで作りました。



結構、楽しく作ることができました。この日は、ペルセウス座流星群の極大人いうことで、やはり主役は流れ星。

艶島台長の説明も力が入ります。



たくさんの流星を見ることができて大満足でした。



## スターパーティー

さて、その夜は宮内双眼鏡対決ということで60mmから100mmまで4台の双眼鏡が集結。見比べてみました。それぞれ個性があっておもしろい体験でした。そのまま、一晩星を眺めていよいよ本番のスターパーティー当日！

みなさん、へろへろの様子。それでも星グッズの準備や、今年はじめての試みの「キャンドルサービス？」の準備に大忙しです。これは、竹を切って、

その中にろうそくを入れて並べようという企画です。実際に火を付けてみるまで不安でしたが、これがはじめてみると、何と幻想的な美しさ！！西嶋ワールドの現出でした。



この日の目玉は、「ロケット」でした。最初は高田さんの「空気ロケット」大会でした。



たくさんのちびっ子が集まって、大盛況でした。その後、モデルロケットの打ち上げでした。今回はいろいろな種類のロケットが打ち上げられ、大歓声が上がりました。その後は、恒例のビールパーティー？。焼きそばやたくさんの方の差し入れもいただき、結局徹夜で楽しんでしまいました。参加した皆さんお疲れ様でした。来年は、時期も考えてもっと盛り上げましょう！！

## ☆3人のコペルニクスに会ってきた（その1）☆

白鳥

今回、研究会でポーランドに行くことになり、それならついでにとフロムボルク・トルン・ワルシャワのコペルニクスの像を見に行ってきたのでその報告をします。

### 1. フロムボルクのコペルニクス

そもそも、なぜこんなことを思いついたかというと天文月報の小暮さんの記事（天文月報2004年10月号「フロムボルク城とコペルニクス」）を読んだからです。フロムボルクは研究会が開かれているグダンスクから近い（約80km東）ため、どうせポーランドに行くならついでに。との思いから資料集めをはじめました。フロムボルクでのコペルニクスの業績やその生涯についてはこの小暮さんの記事に詳しいので省略しますが、フロムボルクはコペルニクスが後半生を送った地です。グダンスクが人口50万人ほどの市なのに比べると、フロムボルクははっきり言って片田舎の小さな町だ。そのため、アクセスも悪くグダンスクからは直行バスではなく、Pieniezno行きのバスの途中の停車場でしかない（熊本の市バスの停留場を想像してもらうといい）。もちろん、グダンスクのような大きなバスセンターもない。

それでもとりあえず行ってみようと、グダンスクのバスセンターまで出かけていってそこからバスに飛び乗った。バスはElbrag経由で1時間50分ほどの旅。途中に山らしいものは見えず、どこまでも平原が広がる。本当に「平原の国（そもそもポーランドという名前が平原から来ているそうだ）」と感じて小学校の時に習った「ポーリュシカ、ポーレ」ってポーランドのこと？？とか考えているうちにいつてしまう。研究会の午後のオプションツアーをキャンセルして來たので、着いたのが3時。この国の主な観光施設って4時になると閉まるじゃないか。時間がない！！とりあえず急がねば！！どこだ 入り口は！！



図1 フロムブルク城へ通じる門



図2 南門

とりあえず、目の前に見える門（図1）をくぐっていこう！おおきな建物がみえて

とりあえず、プラネタリウムにいってみよう。でも、どこにあるかもわからない。中庭の売り子に訊いてみよう。ただで訊くのもと思い、絵葉書を何点か買う。なんだ目の前にあるじゃないか（図3）。最後の回に飛び込み入ったが、館は鐘塔の下の部分を改良して作っているのでとても狭い（図4）。しかも観客がぼくとアベックだけ。



図3 入り口にこんな  
プレートがかかってました



図4 本当は撮っちゃいけなかったかな？

プログラムは太陽系の動き（さすがコペルニクスの下、天動説の解説！）から始まって、今見える星空の解説。ただ、入るときにも訊かれたがポーランド語の解説で細かいことはよくわからない！ ま、いいか。



図5 この写真はうそです



図6 プラネを外から見ると

45分ほどの生解説のあと、（図5は別のイベントでの写真）外に出てみるとプラネタリウムの丸天井は月の模型に使われていたことがわかった（図6）。これはうまく工夫している。入口からプラネまでは隕石が展示されていて、あれっ？ ポーランドって隕石と関係があるの？ と考えさせられたりもした。

「モルダバイト」はチェコだし。さて、次は塔に上ってフロムボルク城の全域を眺めてみよう

# ☆☆☆☆ ちょっと一眼

*Poem & Illustration*

残暑お見舞い申し上げます。

立秋をとっくに過ぎたというのに暑い日々が続きますね。23日は処暑だそうですが、ホントに暑さが収まるのか?水不足も心配になってきたこの頃です。

最も、晴れた夜が多ければ、それだけたくさん星空を楽しめるわけで、夕立の後にスカッと晴ってくれるといいなあ、などと勝手なことを考えています。

夏の星座はまだまだ健在ですが、そろそろ秋の星座が主役の座を主張し始めました。ペガサスやアンドロメダ、ペルセウスと、星座物語でおなじみの星星をたどるのもなかなか楽しいものです。



# 天馬に乗って

伝説はいつから始まったのか

お姫様は王子様を待っている  
王子様は白馬に乗ってやってくる

悲劇のヒロインになりたかった女は  
苦境から救い出してくれる勇者を待っているふりをしていた  
ふりだということを自覚しないまま

お姫様は勇者を待っている  
勇者は天馬に乗ってやってくる

呪文のように繰り返し繰り返し  
繰り返し続けて  
日常の中に溶け込んだ仮想のアンドロメダが  
身じろぎする夜

星の粉を巻き上げながら天馬が誘いにやってくる

飛んでみないか 天馬に乗って  
ひとりで 自分の力で  
虚構の鎖を消し去って

By Dio

# 2005年7月の県民天文台～運営日誌より～

開台率10日/12日=83.3% 一般来台者数70名 会員来台44名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
5日 (火)	雨	さかもと ハ竜天文 台 橋本 さん	TSU	光害について。 学校での出張講座の取り組みかたなど意見交換。 とても貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。 「上方光束ゼロ防犯灯」デモ機と 「星空の見えるまちづくり」DVDをお渡しし、 募金をいただきました。
6日 (水)	晴/曇	工事業者 さん1名	TSU、松本	晴れていたので来台(PM7:00ころ着)しましたが、 時間が経過するにつれ雲が広がり、 PM8:30全面雲雲雲。 そんな・・・。 言葉ありません。 ※ルーフ部分工事完了しました。
15 日 (金)	晴	1名	TSU、松野、 西嶋、中尾T	久々の晴天。 金星も木星も月もきれいです。 金星、木星、月、ダブルダブル、アルビレオ、 ベガ 17:00～ 中外テクノス(コンサルタント会社)の方が来台。 城南町の大規模店舗の光害対策について県に提出した「意見書」についての具体策協議。 「星空の見えるまちづくり」DVDを持ち帰られました。
16 日 (土)	くもり/ はれ	山田R氏	中島、鹿釜	くもりのため来台者なし！！  艶島氏インタビュー (熊本日日新聞社) 鹿本氏
18 日 (月)	うす曇	3名	Tsu	昨日も今日も電話してきた人達。 男性1名、女性2名の若いグループ。 天の川を見たかったらしいが、 月も明るいしうす雲が広がっている。  金星、木星、アークツルス、ベガを見る。 「またきま～す！」といって帰られました。  イベント用にヘッドウォーンマイクを入手。 アンプに接続してテスト。
20	晴		小林ま	NTTからADSLモデルの修理(取替え)のた

日 (水)				め来台。 新しいモデム設置完了。
23 日 (土)	晴	9名	中島、鹿釜	大変熱心な家族連れ。 子供たちもとても喜んでいました。 空が暗いときにまた来るそうです。 木星、ベガ、アンタレス 21:00 ころ 城南町夏祭りの花火が観測室から見えました。 ひまわり形のがきれいでした。 龍田小で星を見る会100名 (TSU) 木星、ベガ、電子紙芝居
24 日 (日)	曇	一 家 族 6 人	Tsu、小林M、 高田	金星、木星、電子紙芝居
26 日 (火)	はれ			M8&M20 (400mmF5.6 トキナーのレンズで最初の 挑戦) 結構よく写るけど青ニジミはドハデでした。 でもM8とM20が一度に入るので、画角的に はなかなかよさそうです。(中島)
28 日 (木)	晴	熊本市城 南小4年 生星を観 る会10 0名	Tsu、ヒグ、 白鳥、九東大 天文部7名	☆星座早見の使い方 ☆星の位置を測ろう ☆金星、木星、ベガ、アンタレス、夏の大三角 の説明 望遠鏡3台 先生方も保護者も子供たちも楽しかったそう です。 こばと保育園から Tel. 30日(土)に観測会を 希望とのこと
30 日 (土)	くもり	◎城南こ ばと保育 園 園児 10名+保 育士4名 ◎一 般 3名(親 子)	中島、Tsu	アンタレスのみ ◎雲もがたれこめる中、時々見える星を求めて 右往左往。結局アンタレスのみの観望 ◎今年もこばと保育園の園児は元気で素直で氣 持ちのよい子どもたちでした!!
31 日 (日)	雨のち曇 り時々は れま		Tsu	朝は雷と猛烈な雨!その後は曇り。夕方少し日 が差して青空がのぞく。天文台へやってきてビ ックリ!! 数日前にクラッシャランを敷き詰め て復旧してあった天文台入り口のスロープが、 今朝の豪雨で見事にえぐられてしまい、あっけ なく、いままで以上の深くて広い峡谷になっ ている!アーア・・・また資料館に報告して何とか修復してもらわなくては。

もう毎日が猛暑の熊本です。ヘロヘロになっています。夏バテしてませんか?さて天文台では色々なイベントがあり、盛り上がっております。ペルセ流星群は結構流れましたね。夜半過ぎから、ビュンッて感じで。暗い空だったらもっと沢山見えたのかな。天文台でもバッチシでしたが、え~誰か写真撮ってます?みんな、おー、わー、きやーで、それどころじゃ無かったです…。空き時間に昇る火星を見ました。レモンの形をした火星で、とっても綺麗。秋が楽しみですね。さあ、猛暑にめげず、頑張っていこう!!

☆☆☆ 平成17年度の会費納入をお願い致します ☆☆☆

### ★9月の天文現象＆行事★

- 1日(木) 夕空に金星(-4.0等)と木星(-1.7等)がならぶ  
天王星が衝(19:51 5.7等 視直径03.7")
- 4日(日) 新月(03:45)
- 7日(水) 夕空に月と金星(-4.0等)と木星(-1.7等)がならぶ  
白露(はくろ…秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味)
- 8日(木) くじら座Uが極大(周期235日 6.8~13.4等)
- 10日(土) トークアバウト(天文台にて 20:00~)
- 11日(日) 上弦(20:37)
- 14日(水) みずがめ座Tが極大(周期202日 7.2~14.2等)  
ヘガスス座Vが極大(周期302日 7.0~15.0等)  
土星とプレセペ星団が接近(明け方に接近している様子が見えます)
- 15日(木) りゅう座Rが極大(周期249日 6.7~13.2等)
- 17日(土) 城南町子ども教室 18:00開会(ロケット打ち上げ・金星観察)  
その後観月会
- 18日(日) 中秋の名月(十五夜) 満月(11:01)
- 19日(月) かみのけ座Rが極大(周期363日 7.1~14.6等)
- 22日(木) 明け方の西天で月とブリアデス星団と火星(-1.5等)がならぶ
- 23日(金) 秋分(しゅうぶん…昼夜同じ長さ(等分)になる日。秋の彼岸の中日の日)  
月がブリアデス星団のη星に最接近(02:09)
- 24日(土) かんむり座Sが極大(周期360日 5.8~14.1等)
- 25日(日) 下弦(15:41) 月が本年最北

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2005年9月号 通巻366号

発行所 熊本県民天文台事務局 TEL 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>